

一般社団法人 日本小児血液・がん学会  
(旧 特定非営利活動法人 日本小児血液・がん学会)  
第 29 回 (平成 28 年度第 2 回) 理事会議事録

日 時：平成 28 年 6 月 1 日 (水) 10:30~14:30

場 所：AP 品川アネックス P ルーム

東京都港区高輪 3 丁目 23-17 品川センタービルディング B1F

出席者：檜山英三 (理事長)

堀部敬三 (副理事長)

足立壯一、井上雅美、今泉益栄、大植孝治、小野 滋、上條岳彦、菊田 敦、木下義晶、  
副島俊典、田尻達郎、田中祐吉、堀 浩樹、真部 淳 (以上理事)

小林正夫、仁尾正記 (監事)

黒田達夫 (第 58 回学術集会会長)

細井 創 (第 60 回学術集会会長)

天野功二、上別府圭子 (以上オブザーバー)

欠席者：大賀正一 (理事)

西川 亮 (オブザーバー)

石井榮一 (第 59 回学術集会会長)

議長：檜山理事長

冒頭に、本日の理事出席者数は 16 名中 15 名であり、定款施行細則第 8 条第 3 項に定める成立定  
足数を満たしているため、本理事会は成立することを確認し、以下の議案について逐次審議に入った。

#### I. 前回議事録 (案) の確認

議長より、前回議事録 (案) が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認さ  
れた。

#### II. 審議事項

##### 1. 平成 27 年度事業報告の件

議長より、平成 27 年度事業報告 (案) が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議  
なく承認された。

##### 2. 平成 28 年度事業計画の件

議長より、平成 28 年度事業計画 (案) が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議  
なく承認された。

##### 3. 平成 27 年度決算報告の件

真部庶務・財務委員長より、平成 27 年度決算報告 (案) が示され、説明がなされた。また、監事  
より、監査が実施され、適正に運用がなされていることを認める旨の報告があった。決算について、  
議場に承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

#### 4. 第 57 回学術集会決算書の件

真部庶務・財務委員長より、第 57 回学術集会決算書が示され、議場にその承認が求められたところ、学術集会からの寄付金は寄付ではないため、余剰金へと記載を変更することとし、承認された。

#### 5. 平成 28 年度予算書の件

真部庶務・財務委員長より、平成 28 年度予算書（案）が示され、説明がなされた。議場にその承認が求められたところ、アジア交流奨学基金金額及びデータベース事業に対する助成金額を修正することとし、承認された。

#### 6. 入会申請者承認の件

真部庶務・財務委員長より、正会員 15 名の入会申請者が示され、議場にその承認が求められたところ、1 名の専門領域については本人に確認することとし、承認された。

#### 7. 休会申請者の件

真部庶務・財務委員長より、正会員 1 名の休会申請者が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

#### 8. 疾患委員会に関する件

足立疾患委員長より、血小板委員 3 名及び止血・血栓委員 2 名を公募した結果、血小板委員に 4 名の立候補があり、止血・血栓委員に立候補がなかったことが報告された。

血小板委員立候補者の 1 名は、すでに 2 期連続で委員任期を満了されており、再任資格がない状況であったが、当該立候補者が委員会のデータベース等を管理しているため、その移譲期間として、1 年間はオブザーバーとしての委員会参加を認めることとなった。

血小板委員立候補者の 2 名は、評議員ではないことから資格不十分であるため、学術・調査委員会にて対応を検討することとなった。

#### 9. 研修施設資格更新の件

井上専門医制度委員長より、本年度小児血液・がん専門医研修施設の資格更新対象施設 75 施設に関して、委員会において、提出書類をもとに厳正に審査した結果、以下の審査結果が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

資格更新施設	71 施設
要疑義照会施設	1 施設
資格更新辞退施設	3 施設

#### 10. 認定外科医資格更新の件

井上専門医制度委員長より、本年度小児がん認定外科医の資格更新対象者 39 名に関して、委員会において、提出書類をもとに厳正に審査した結果、以下の審査結果が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

資格更新者	25 名
-------	------

## 11. 研修集会新規認定の件

井上専門医制度委員長より、本年度研修集会への新規認定申請集会 1 件に関して、提出書類をもとに厳正に審査した結果、認定要件を満たしているものと判定し、その開催状況から、研修単位 3 単位の判定したことが報告された。議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

## 12. みなし指導医新規認定の件

井上専門医制度委員長より、小児血液・がんみなし指導医への新規認定申請者 6 名に関して、提出書類をもとに厳正に審査した結果、全員認定要件を満たしているものと判定したため、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

## 13. 専門医研修プログラム整備基準に関する件

井上専門医制度委員長より、専門医研修プログラム整備基準（案）が示され、以下の要確認項目が示され、整備基準（案）についての意見を事務局へ連絡するよう議場へ周知された。

- ・小児血液がん専門医制度と地域医療・連携
- ・研修年次ごとの研修カリキュラムを作成するか
- ・施設において専攻医をどのように評価・修了判定するのか
- ・専門研修施設群をどのように構成するのか
- ・専攻医受け入れ数の基準

## 14. 定款施行細則改正の件

副島規約委員長より、資料をもとに、定款施行細則第 3 条を以下のように改正する案が示され、議場に承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

（評議員の資格喪失）

第 3 条 評議員は、次の場合にその資格を喪失する。

- 1) 評議員退任届が提出されたとき。
- 2) 正当な理由なしに 2 年連続で社員総会を欠席した場合。社員総会の出席は 1 年のうち少なくとも定時または臨時のどちらかに出席した場合には当該年度の社員総会に出席したものとみなす。委任状の提出は出席と認めない。但し、正当な理由がある場合は資格審査委員会で審議する。
- 3) 社員総会欠席の「正当な理由」を以下のように定める。
  - (1) 緊急対応を要する用件（緊急手術など突発的に発生した診療業務など）
  - (2) 社員総会より優先度が高いと考えられる用件（重要な会議など）

\* 予定手術や通常外来診療など予定変更可能なものは「正当な理由」とは認められない
- 4) 任期中に 66 歳の誕生日を迎えた者は、次期定時総会后、その資格を失う。

## 15. 学会誌投稿規程倫理審査関連事項の件

田中学会誌編集委員長より、学会誌投稿規程倫理審査関連事項追記（案）が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

## 16. 論文審査用紙修正の件

田中學會誌編集委員長より、論文審査用紙について、以下の修正（案）が示され、議場に承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

・「臨床研究の場合、倫理上とくに問題はないか」の項目は、倫理上の問題 特になし・あり（内容）の選択記述式設問へと変更する。

・審査結果「D 不採用」は、「D 不採用（再査読の意思なし）\*D の場合、この原稿に関して再査読の依頼はいたしません。なお、他の査読者の審査結果との総合判断によって査読が継続されることがあることをご確認ください。」へと修正する。

また、議場より、審査における選択肢（A）「最も優れている」、の記載は「とくに優れている」へ修正することが提案され、全員異議なく承認された。

## 17. 学会誌編集委員会規程（案）の件

田中學會誌編集委員長より、学会誌編集委員会規程（案）が示され、議場に意見が求められたところ、全員異議なく承認された。

また、議場より、投稿者と査読者間における利益相反確認の必要性について意見がなされ、今後、利益相反委員会と協議の上、検討することとなった。

## 18. 看護委員会委員及び規程の件

上別府看護委員長より、看護委員会委員（案）及び規程（案）が示され、議場に意見が求められたところ、委員会委員（案）については異議なく承認され、規程（案）については看護以外の領域についても追記することとし、検討事項となった。

## 19. 震災対応に関する件

議長より、熊本地区の震災対応について資料が示され、今回は日本小児科学会の災害対策 WG へ情報を集約する体制で連携がなされたことが報告された。

今後の非常事態における連携体制について、議場に意見が求められたところ、拠点病院を中心とした連携が望ましい、との意見があったが、震災は拠点病院のある地域にも同じく発生するので、拠点病院を中心にするのがよいかどうかは検討を要する。

## Ⅲ. 報告事項

### 1. 庶務報告

真部庶務・財務委員長より、資料をもとに、会員状況について報告がなされた。

### 2. 評議員等資格審査委員会報告

木下評議員等資格審査委員長より、資料をもとに、本会ホームページ内、新規評議員 H28 年度申請要項、並びに申請資格ページに関して、以下の修正がなされたことが報告された。

- ・新領域評議員に関して追記した。
- ・会期の変更に伴い、次回は 2017 年 3 月の募集とした。

### 3. 倫理委員会報告

菊田倫理委員長より、資料をもとに、日本医学会第 2 回研究倫理教育研修会への出席及び内容報告がなされた。

### 4. 利益相反委員会報告

田中利益相反委員長より、役員・委員の利益相反申告回答状況が報告された。

現在、対象者 94 名中、75 名から申告書が回収できている。

### 5. 研究審査委員会報告

上條研究審査委員長より、資料をもとに、臨床研究倫理審査状況が報告された。

また、審査結果書について、審査意見が記載されているが、承認であるのか要修正であるのかが記載されておらず、対応の判断が難しいとの意見があり、今後は審査結果書に委員長名及び審査結果を記載することとなった。

### 6. 学術・調査委員会報告

堀部学術・調査委員長より、資料をもとに、日本小児科学会がとりまとめている、各学会の疾患登録事業を国が支援する臨床効果データベース整備事業に本会も参画しており、このたび、厚生労働省より事業の認可が下りたことの報告がなされた。本年度は本会のデータベース事業についても国からの支援が得られる予定である。

### 7. 教育・研修委員会報告

大植教育・研修委員長より、資料をもとに、2016 年度の教育セミナー及び緩和ケア研修会開催予定について、報告がなされた。

2017 年度からの厚生労働省委託事業については、今後の検討事項とする。

### 8. 専門医制度委員会報告

井上専門医制度委員長より、第 3 回小児血液・がん専門医試験の実施予定について報告がなされた。

### 9. 第 58 回学術集会準備状況報告

黒田会長より、資料をもとに、第 58 回学術集会準備状況について以下の報告がなされた。

- ・ 5 月 11 日より演題を募集中である。募集終了は 7 月中旬頃を予定している。
- ・ 参加者の動線を考慮し、会場使用予定を検討している。
- ・ 関連学会のクレジット認定については、本年度も申請及び認定見込である。

来年からはクレジット認定が厳格化することが予想される。

### 10. PBC に関する件

議長より、Pediatric Blood & Cancer の定例会議について、資料をもとに、報告がなされた。

本会の抄録を PBC に掲載する件については、現在交渉中である。

11. 社員総会議事進行の件

議長より、6月25日開催の社員総会について資料が示され、議事進行の確認がなされた。

12. 次々回理事会の開催日時について

議長より、次々回理事会の開催日時について、議場に意見が求められたところ、11月4日（金）13時から17時の開催とすることとなった。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。